

国家基幹技術の評価結果(案)の 概要

平成18年7月26日
総合科学技術会議

評価の目的、評価の実施方法

目的 : 第3期科学技術基本計画に基づき、分野別推進戦略(平成18年3月策定)において「国家基幹技術」と位置付けられた研究開発を評価。
関係大臣に意見具申し、研究開発の効果的・効率的な推進を確保。

評価対象 : 高速増殖炉サイクル技術
宇宙輸送システム
海洋地球観測探査システム

評価方法 : 5月以降、評価専門調査会において、原子力委員会、宇宙開発委員会等の見解も参考として調査・検討。
本会議で審議、決定。

- (注) 1. 国家基幹技術のうち、「次世代スーパーコンピュータ」及び「X線自由電子レーザー」については、平成17年度において大規模研究開発の事前評価として総合科学技術会議による評価を実施済みであり、これをもって国家基幹技術の評価に代えた。
2. 投入額については、今後精査する。

1. 高速増殖炉サイクル技術

【文部科学省】

< 総合評価 >

➤ 概ね妥当

< 主な指摘事項 >

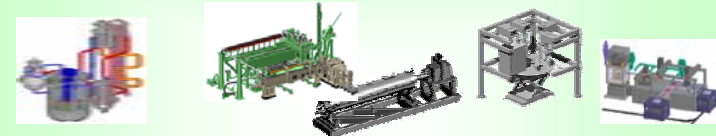
- 他のエネルギー供給技術と比較した優位性の確立を念頭においた詳細な実施計画の策定
- 研究機関から事業者への確実な技術移転
- 戦略的な国際協力の実施
- 長期的視点での人材育成および技術、技能の後継者への確実な継承
- 国民の支持を得、研究開発をスムーズに実用化につなげていくための、国民との相互理解の醸成

原型炉「もんじゅ」

2008年運転再開を目指す



FBRサイクル実用化戦略調査研究



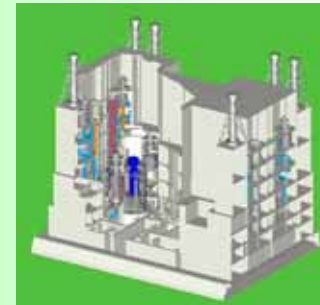
[炉システム] [再処理システム] [燃料製造システム]

高速増殖炉サイクルの適切な実用化像

実用FBRサイクル

(2050年頃を目途)

実用炉



実用燃料サイクルプラント



2. 宇宙輸送システム

【文部科学省】

< 総合評価 >

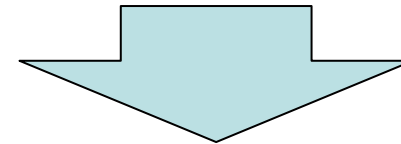
➤ 概ね妥当

< 主な指摘事項 >

- 今後も技術の確立、信頼性の向上を柱に推進
- 将来の技術動向やニーズを踏まえた計画の柔軟な見直しとコスト管理の徹底
- 関係者の連携強化と、今後の進展に併せた官民間や関係者の役割分担、責任のこれまで以上に明確な整理
- 国民の一層の理解増進と実施者の説明責任の観点から、実質的な利益をわかりやすく示す機会の積極的な提供



H-IIAロケット H-IIBロケット 宇宙ステーション
(H-IIA能力向上型) 補給機 (HTV)



自律的な宇宙輸送システムの確立

世界最高水準の基幹
ロケットの確立・維持

将来の基本的なニ
ーズに対応できる自律
的な技術基盤の保持

3. 海洋地球観測探査システム

【文部科学省】

< 総合評価 >

- 概ね妥当だが、データ等の収集、解析から活用までを一体として推進するための、関係者の連携やマネジメントの強化について特段の配慮が必要

< 主な指摘事項 >

- 従来の分野縦割りの運営から全体が一体となった運営への転換
- 「海洋地球観測探査システム推進本部」の積極的な活動によるその機能の実効性の確保
- データ・情報のユーザーのニーズを積極的に汲み取る体制の確立
- データ形式の標準化や相互活用への取組などの工程の明確化
- 国際協力の積極的な推進

